

|  |   |
|--|---|
| 2 2 陳 情<br>第 2 8 号   | 富久町地区の環状 4 号線道路整備計画に関する陳情                     |
| 付 託 委 員 会  | 環境建設委員会                                       |
| 受 理 及 び 付 託<br>年 月 日   | 平成 2 2 年 1 0 月 4 日 受 理、平成 2 2 年 1 0 月 4 日 付 託 |
| 陳 情 者  | 新宿区富久町_____                                   |
| <p>( 要 旨 )</p> <p>新宿区において、東京都に対し、富久町地区の環状 4 号線道路整備計画廃止を要請してください。</p> <p>( 理 由 )</p> <p>富久町地区の環状 4 号線道路整備計画とは、余丁町児童遊園から旧小石川工業高校までの延長 3 3 0 メートルに、まったく新しい道路をつくる計画です。良好な既成住宅地を斜めに分断する強引なものです。</p> <p>今まで何の音沙汰も無かったこの計画について、昨年秋、東京都第 3 建設事務所より、突然事業をすすめるとの話がありました。</p> <p>環状 4 号線は、昭和 2 1 年の戦災復興事業として都市計画決定されたものですが、その原型は震災復興計画以前にも見られます。9 0 年も前に計画された道路整備事業が今になって実施されようとしているのです。今後、この地域に新しい幹線道路が必要なのか大いに疑問ですし、東京都から納得のいく説明はなされていません。新宿区が立ち上げた「富久町地区まちづくり協議会」においても、道路の必要性・将来予測等、住民が求める正確な情報が何等提供されず、住民は疑心暗鬼にかられる日々をすごしています。</p> <p>当地(富久町中町会)は、昭和 1 2 年まで市ヶ谷刑務所として使用された跡地に築かれたまちです。そのうち都市計画公園「富久公園」に予定されている区域は、戦後、被災者のための応急住宅が建てられ、払い下げられた場所です。当時は道路も水道も無く、住民たち自らが力を合わせ井戸を掘るなど苦労を分かち合い、今あるまちの土台をつくりあげてきました。今では台地上の整った街区の閑静な住宅地となっています。</p> <p>道路整備計画がすすめば、このまちの土台を築いてきた人たちが、愛着のある家を失い、住み慣れたまちを離れなければなりません。高齢者のみの世帯が多く、生活再建は大変困難です。また、東京都が説明している道路用地のみの買収では、生活再建・残地</p> |   |

の利用ともに困難です。

さらに、沿道の住民が被る害は甚大です。立ち退き家屋の解体工事に始まり、道路完成までの長い過渡期に工事関係車両が通行するのは、現在、富久町保育園・富久町児童館への通学路ともなっている生活道路です。高齢者も多い地域で、安心して利用できていた生活道路が危険にさらされてしまいます。また、環状 4 号線道路完成後も、それに接続する道路として生活道路が使用されれば、そこにも騒音・振動・大気汚染等のいわゆる交通公害問題が生じます。現在の良好な住環境が壊されてしまいます。

余丁町児童遊園は環状 4 号線道路の予定地を借りて利用しているものです。ですが、計画決定からあまりにも長期間空いたために、地域住民は、ここで春の祭や盆踊りなどを行い、大変良好なコミュニティの場を築き上げ、無くてはならないものになりました。外遊び場の少ない地域のため、子どもたちにとっても本当に大切な場です。旧小石川工業高校と共に災害時緊急避難所ともなっています。

さらに道路整備され、用途地域が変更になるなど、沿道型の土地利用とされた場合、このまちは原型を留めなくなってしまいます。沿道にあたる住民もまちに住み続けられなくなってしまふのです。

「長年住み慣れた愛着のあるまちに住み続けられるように」また、「現在の良好な生活環境が守られるように」願いを込めて、富久町地区の環状 4 号線道路整備計画を廃止するよう、東京都に対して要請していただきたく陳情するものです。